



給田文書(玄武)
龍谷大学図書館蔵

大陸調査の先駆 大谷探検隊

Featured Exhibit "Studies on the Ōtani Expeditions in the 21st Century"

—21世紀の研究成果から—

【主催】横浜ユーラシア文化館
【共催】横浜市教育委員会

【監修】片山章雄(東海大学教授)
【後援】龍谷大学 龍谷ミュージアム

2014年10月7日|火|
~11月3日|月・祝|

Tuesday, October 7 to Monday, November 3, 2014

【開館時間】9:30~17:00 入館は16:30まで

Hours: 9:30~17:00 Last Admission 16:30

【休館日】毎週月曜日 ただし、10月13日(月)、11月3日(月)は開館。10月14日(火)は休館。

Closed: Mondays (except October 13 and November 3) and Tuesday, October 14.

【会場】横浜ユーラシア文化館 2階展示室(一部)

【入館料】一般200円、小・中学生100円

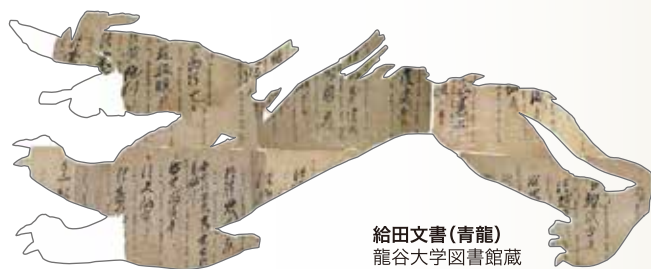
Admission: ¥200 for adults, ¥100 for primary and junior high school students

■3階企画展を観覧される方は無料です。

■「濱ともカード」「敬老特別乗車証」「身体障害者手帳」「障害者手帳」

「愛の手帳(療育手帳)」などをお持ちの方は無料です。

■毎週生曜日は小学生・中学生・高校生は無料です。



給田文書(青龍)
龍谷大学図書館蔵



消印: 藤井宣正から山田友衛に宛てた絵はがきより 長野 真宗寺蔵
探検隊の収集品を積んで砂漠を進むラクダ隊 龍谷大学図書館所蔵写真

20世紀初頭、ユーラシアという広大な視野の下に、大陸でフィールドワークを行った人々がいました。
おたにこうずい
大谷光瑞率いる大谷探検隊です。

大谷探検隊の持ち帰った品々は、学術資料として、また美術品として高い価値を持ち、今なお新たな発見と研究成果を生み出し続けています。それは、そのときの知識で取捨選択をせずに調査するよう命じた大谷光瑞の指示の結果です。大谷光瑞のスケールの大きさは、後年高く評価されることになりました。

3次にわたる大谷探検隊の調査が終結して100周年に当たる今年、大陸へ向かう玄関口の一つであった横浜で、大陸調査の偉大な先駆者である大谷探検隊とその将来品に関する近年の研究を紹介します。

展示構成

I アショーク王碑拓本発見

Discovery of a Rubbing of Aśoka Pillar Inscription

近年その存在が明らかになった第3のアショーク王碑拓本を、関東で初公開します。

II 衆人奏楽図の位置と意義

Original Location of the "Musicians" Painted in Bezeklik Grottoes

21世紀に入り、壁画の正確な位置がようやく明らかになりました。

III 四神文書復元

Restoration of the Ōtani Documents

教科書にも載っている有名な資料にも、まだまだ新たな発見が続きます。

IV 大谷探検隊の旅と調査

Ōtani Expeditions in Eurasia

100年前にユーラシア大陸を踏査した大谷探検隊。写真や探検装具などを通じて当時の様子を振り返ります。



横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of Eurasian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通 12
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453
12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama
<http://www.eurasia.city.yokohama.jp/>

- ◎みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 直結
- ◎JR「関内駅」南口、横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口から 徒歩10分
- ◎横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」下車 徒歩1分

横浜ユーラシア文化館 特別公開

大陸調査の先駆 大谷探検隊

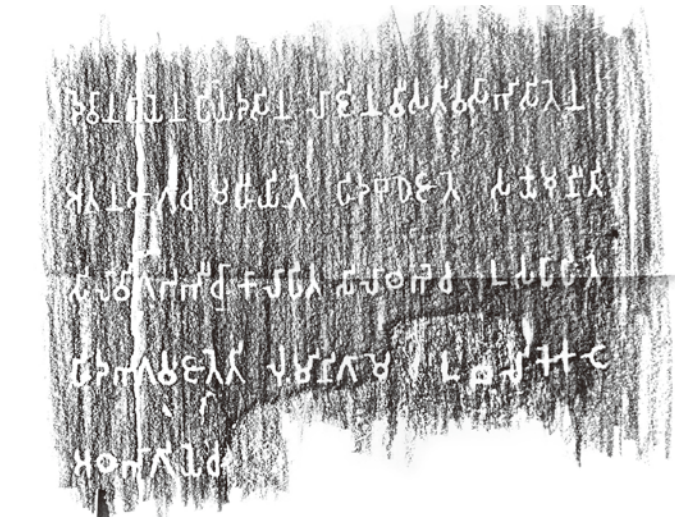
—21世紀の研究成果から—

Featured Exhibit "Studies on the Ōtani Expeditions in the 21st Century"



高度計 龍谷大学図書館蔵

関東
初公開!



アショーク王碑拓本 長野 徳正寺蔵